

灰谷さんら呼びかけ

ピースボートが集荷^など担当

灰谷さん 石川さん



阪神大震災の救援物資をチャーター船で輸送、ボランティアの手で直接送り届けようというプロジェクト

が、作家の灰谷健次郎さんや漫画家の石坂啓さん、報道写真家の石川文洋さんらの呼びかけで始まった。被災地に届いた物資の多くが、人手不足で仕分けも配

布もできずに山積み状態のため、民間団体「ピースボート」(本部・東京)が、百人規模のボランティアで集荷から運送、保管、配布まで一貫して行うことを企画した。船は来月九日、神戸港に接岸する予定。

救援物資は、下着、紙オムツ、医薬品、毛布、ポリ容器、乾電池、紙コップ、皿、自転車、保存食、粉ミルクなど。とくに自転車は、被災者やボランティアの足にするため、約五百台を自

標に集めている。

石坂さんは、メッセージの中で「今回初めて空襲とかが疎開、避難生活といった

ものに実感を伴う怖さを感じた。できるだけ援助を

したい」と、協力を呼びかけている。問い合わせと救

援金の送付は、東京都新宿区高田馬場一の六の一五、荒井ビル三階、ピースボート気付、阪神大震災救援基金(03・3232・6157)へ。